

# 校長のつぶやき II

校長室便り 第2号

令和2年4月8日 山内

## ○入学式 ー校長式辞「結果よりもその過程」(要旨)ー

ここ城山の桜も咲き始めた今日この良き日に保護者の皆様ご出席のもと、新型コロナウイルスの影響で実施が案じられておりました、令和2年度宮城県岩出山高等学校入学式を、簡素化ながらも、無事に挙行できますことは、私ども教職員一同にとりましてこの上ない喜びであり、心より感謝申し上げます。

また、今日のこの日を、心待ちにして来られた保護者の皆様におかれましては、お子様の晴れ姿に感慨もひとしおのことと推察申し上げます。誠におめでとうございます。

只今入学を許可されました72名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員、在校生一同、皆さんを心より歓迎いたします。

さて、本校は志(こころざし)・和(わ)・道(みち)を校訓に昨年創立90周年式典を終えたばかりの県内でも有数の伝統校です。その結果卒業生は、地元はもとより、県内外におきましても、おおいに活躍されております。新入生の皆さんも今日からその一員となるわけですが、この岩出山高等学校での新しい生活のスタートにあたり、私から一つの言葉を贈ります。それは「大切なのは上手くいくことではなく、努力することである」ということです。

皆さんご存じのように今年東京オリンピック・パラリンピックが7月24日から開催される予定でした。しかし、猛威を振るう新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2021年7月まで一年ほど延期されることになりました。中止ということも考えられましたので、勝ち負けやメダルの数のことよりも、延期ながらも1964年以来二度目の東京大会が平和的な中に行われることを期待しています。

近代オリンピックの父と言われるフランス人クーベルタン男爵は1908年、オリンピックの存続が危ぶまれるくらいに激化する米国や英国をはじめとする「勝利至上主義」に対して次のように演説しています。

The most important thing in the Olympic Games is not to win but to take part, just as the most important thing in life is not the triumph but the struggle. The essential thing is not to have conquered but to have fought well.

日本語で言うなら「オリンピックで最も大切なことは勝つことではなく参加すること。人生において最も大切なことが成功することではなく、努力することだということ。本質的なことは勝つかどうかでは無く、どう戦ったかにある」となります。

新入生の皆さんにはこれから3年間、勝敗や当落にこだわるのではなく、目標に向かって一生懸命努力することを何よりも大切にして欲しいと思いますし、岩高の先生方は結果ではなく皆さんの努力する姿をたたえます。

最後になりましたが、保護者の皆様に申し上げます。このたび、ご縁があり、皆様の大切なお子様をお預かりすることになりました。わたくしども教職員一同は生徒の苦しみを自分の苦しみとし、生徒の喜びを我々の喜びとし、一人一人を、一日一日を大切に「結果よりもその過程」を重視して指導して参る所存でございます。どうか本校の教育活動に対しましてご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに本日入学された新入生の皆さんは、九年前あの未曾有の大震災によって卒園式や入学式を形通りにできず、今回も中学の卒業式も十分な形で行えなかった辛い経験をしました。だからこそ、大切なのは「形式」ではなく「真心」だということと、辛く困っている人がいれば進んで助けてやれるような人となれるよう、皆さんにとって実り多い3年間となりますことを切に願ひまして式辞といたします。

以上で新年度最初のつぶやきはお終いです。結ぶに一首。

晴れの日 親子別々 教室の 見えない敵は 新型コロナウイルス

令和2年4月8日 宮城県岩出山高等学校長 山内 民